

（ 数学 ） 科 （ 数学Ⅲ ） 学 習 指 導 案					
学 級	3年 6組	教 室	306 教室	指 導 者	
単 元	第5章 第2節 定積分		教科書	改訂版 数学Ⅲ (数研出版)	
指 導 目 標	1	定義に基づく定積分の基本性質を理解させ、その利用法に習熟させる。	指 導 計 画	5	定積分とその基本性質 . . . 2時間
	2	置換積分法、部分積分法を理解させ、その利用法に習熟させる。		6	定積分の置換積分法 . . . 4時間
	3	区分求積法を理解させ、その利用法に習熟させる。		7	定積分の部分積分法 . . . 2時間
				8	定積分の種々の問題 . . . 5時間 (本時はその2時間目)
				問題演習 . . . 2時間	
本 時 の 指 導 過 程	主 題	区分求積法			
	目 標	1 面積を微小な長方形で近似して、極限を考えて求める方法を学習させる。 2 定積分と数列の和の極限の関係を理解できるようにさせる。 3 数列の和の極限を、適当な関数の定積分で表して求めることができるようにさせる。			
	課 題	教科書P. 160の練習26を解き、教科書P. 161～163を予習してくる。			
		学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 の 観 点 等
	導 入	本時の主題及びねらいを確認する。	5	・前時の課題を板書させる。 ・机間指導により課題を点検する。	・課題に意欲的に取り組む。 ＜関心・意欲・態度＞
展 開	1	与えられた関数の積分区間において、区分を次第に小さくし、その値を定積分で計算した値に近似する。	15	・班単位で役割分担して計算させ、その値が次第に定積分で求めた値に近づいていくことに気づかせる。	・プロジェクタ ・細かく区分することでより正確な値に近づくことが確認できる。 ＜数学的な見方や考え方＞
	2	1で考えたことの内容を一般化する。	10	・面積を用いて、定積分との等式を導くことを理解させる。	・一般化された式を理解できる。 ＜知識・理解＞
	3	区分求積法とは何か理解し、その利用法を学ぶ。	10	・数列の和の極限を定積分で表すことによって、その和を求めることに応用できることを理解させる。	
	4	練習27を解く。	5		・問題を解き、その意味を理解できる。 ＜表現・処理＞
整 理	1	本時のまとめを行う。	5	・本時の内容を理解できたか確認させる。	
	2	次時の課題を確認する。			
備 考	普通科 IV類型 生徒数41名				